

苫東環境コモンズの  
活動をまとめて報告

haskap

NEWS LETTER

～コモンズの現地から発信する～

# 勇払原野のSPIRIT

## コモンズの視線

27年2号目のニュースレターをお届けします。自由意思とマイペースで進める地域活動のNPOとはいえ、冬モードを春に切り替えるこの頃は、決算や提出ものも少なからずあったりして、さすがにパタパタします。ただうまくできたもので北海道のGWというのは冬仕事がいなくて夏仕事もできない中途半端な時期で比較的自由時間がとれるもので助かります。そんな4月中旬、黒松内の歌才と添別のブナ林を歩いてみました。ブナはかなり「気」を発する樹木だということを思いだしました。手をかざすとはっきりそれを感じるのです。「林とこころとからだ」のテーマからしばらく離れていましたが、残雪のブナ林を歩きつつ今年からパワースポットを含めたアヤシゲな路線にもすこし軸足を戻してみたいと思います。

(事務局：草苺) ホームページ <http://homepage3.nifty.com/hayashi-kokoro/> 雑木林&庭づくり研究室

### TOPIC 1

#### NPOの役員改選、代表に瀧澤紫織氏

去る3月20日の第12回理事会で原口佳記代表理事と孫田敏理事が退任し、あらたに小山滋氏と稲葉佳子氏が理事に、監事として安部文志朗氏が選任され同日就任の承諾をもらいました。4月1日に就任し、連休の5月6日に開かれた第13回理事会で、代表理事に瀧澤さんが新理事の互選によって選任されました。瀧澤さんは森林療法も手掛ける精神科医で、先生の職場だった植苗病院では当NPO等が支援して雑木林の保育とフットパスの整備が進んだことをご承知の通りです。

### TOPIC 2

#### 前田一步園財団から自然環境保全活動で 助成決まる



4月23日、先に申請していましたが前田一步園財団の助成が内定しました。申請のジャンルは調査研究で、助成事業の名称は『勇払原野における自生ハスカップの分布調査

および採取の記憶ヒアリング』。(選考委員からの評価が高かったとのうわさを漏れ聞きました。)

前田一步園財団は阿寒湖畔に3,600haの美しく広大な森林と豊富な泉源を所有する公益法人。景観に配慮した森づくりのほか調査・人材育成等の助成を行っています。当NPOが助成を受ける今回の事業は自然科学の調査と聞き取り調査という社会科学系の合体したもので、早速5月からハスカップの現地調査に着手します。

これを契機に、7月4日には苫東ウッディーズのメンバー9名で景観に配慮した森づくりの研修に伺うことになっています。

### TOPIC 3

#### 市美術博物館とハスカップで連携事業

当NPOでは昨年のコモンズの出版を受けて、コモンズの象徴であるハスカップを地域の共有財産「コモンプール資源」と位置付け、植生や社会環境の調査に取り組んでいましたが、このたび、このふたつのジャン



ルで苫小牧市美術博物館と連携して事業を進めることになりました。

この連携事業のゴールは中長期的なもので、NPOの展望として「北海道遺産の指定」や「木道や展望台など観察環境整備」なども標榜し、勇払原野のシンボルの位置づけをより強固にしようとのねらいが

あります。

6月27日はNPOと北海道開発協会のコモンズ研究会が主催する第5回環境コモンズフォーラムで、「ハスカップの新たな共有と保全を考える」をテーマに基調講演の講師2名とともに意見交換を行います。

### TOPIC 4

#### 薪の取扱い要領を大幅に改定



[上は5/9の薪の状態]

当NPOでは、主として広葉樹林の保育作業を実施(作業グループを「苫東ウッディーズ」と呼称)し、森林所有者の了解を得て、保育による発生材を冬期間に林地から搬出し主に薪として利活用しています。利活用

に際しては発生材の量および管理方法の流動性から毎年取扱い内容を見直してきました。

このたび、

- ①薪が木質エネルギーとして注目を浴びニーズが増えてきていること
- ②有料で譲渡している薪の代金が、当NPOの活動資金として重要な役割を占めるようになってきたこと

から、「公平」で「効率的」かつ「現実的」な明確なルールを設け、簡単にまとめ周知を図ることとしました。



主な改正点は①薪はまず有償分譲を優先すること②無償譲渡は冬季作業をメインにした14日以上

の個人会員に2棚を上限にすることです。有償の分譲の単価に変更はありません。また、家族や親せき、友人・知人に自分の働き分を譲渡するということができないのは従来どおりです。[写真は5/2の薪積み光景]

**TOPIC 5**

**26年度事業で初納税！！**

26年度、NPOは2件の受託業務を受けましたが、税務署に相談した結果約11万円の納税を行うことになりました。会計の稲葉さんの鋭意交渉のおかげですが、最終的に「払うべきものは払う」という覚悟が決まりました。

(納税の感想；一連の交渉や学習で、事業型NPO的な展開幅も視野におけるようになった点で、組織的には懐が深くなったと言えるかもしれません。ただ、「儲かったら払えばよい」から「上手に手元に残す方法はないか」と考え始める節税の性(さが)というのを、人は潜在的に持っているのではないかと思わせる初めての経験になりました。)

**27年1月末からの活動報告**

各行事末尾の数字は参加者数

- 1/3 sat 草薙山仕事開始③1
- 1/10 sat 山のご用始め 大島山林の除間伐④5
- 1/18 sun 大島山林の除間伐⑤ 4
- 1/24 sat 大島山林の除間伐⑥、搬出開始 7
- 1/31 sat コープさっぽろ「森の交流会」出席 5  
大島山林 1
- 2/7 sat 大島山林の除間伐⑦ 11
- 2/14 sat 大島山林の除間伐⑧ 5
- 2/21 sat 大島山林の除間伐⑨ 9
- 2/25 wed 受託業務「平木沼湖沼群緑地管理方針並びに管理計画策定調査」報告会@株苫東(孫田、草薙)
- 2/28 sat 大島山林の除間伐⑩ 11
- 3/7 sat 大島山林の除間伐⑪ 10
- 3/14 sat 大島山林の除間伐⑫⇒池周りのカラマツ 9
- 3/16-18 mon/wed コモンズ研究会・岩手の自伐型林業(≡コモンズ型林業)ヒアリング(草薙)
- 3/21 sat 大島山林の除間伐=池周り ⑬ 9  
=ここまで91人工

- 3/27 fri 日本森林学会@北大 事例発表(草薙)
- 3/28 sat スキルアップ研修&大島山林の除間伐⑭ 9
- 4/1 wed 土地所有者(苫東)と事業計画協議&苫小牧市博物館と6月フォーラム打ち合わせ(事務局)+苫小牧税務署と相談(事務局)
- 4/4 sat 薪づくり① 10
- 4/11 sat 薪づくり② 3  
黒松内町で講演「森と林が語りかけること〜コミュニティの薪づくりと生物多様性」草薙
- 4/18 sat 薪づくり③ 14
- 4/25 sat 薪づくり④ 14
- 5/2 sat 薪づくり⑤ 8
- 5/9 sat 薪づくり⑥ &小屋の撤収 4  
=今季ここまで153人工

**編集後記**

3月コモンズ研究会の関係でヒアリングに訪れた岩手のNPO吉里吉里国では写真上のような杉の間伐材を



分譲し収益活動を行っています。薪としては一般には嫌われることの多い針葉樹ですが、発熱エネルギーはむしろ瞬発的にナラよりも高く、そのため、一般家庭では蓄熱型薪ストーブ(写真下、HPから)を使用しその販路拡大にもかかわっていました。ですから仕掛けとしてはちょっと大仕掛けになります。しかしオシャレですね。

■この春、新しい個人会員が5人入会しました。年配者から若者まで、男女とも、です。チェーンソーを扱う手前、現場で一緒に動く人数はほぼ限界だと思いますが、薪取引が縁の「薪会員」、ハスカップ摘みが縁をとりもつ「ハスカップ会員」は余裕があります。森づくりを担う組織内グループ「苫東ウッディーズ」はさながら「きこり会員」というところですが、少人数でも安全確実に森づくりに集中し気長に美しい林に育てることこそ肝要かと思えます。

■トピック1の新体制で27年度を開始しました。事務局は留任です。明るく楽しい中高年の星のようなコモンズ運営を目指します。遠隔地の会員で来苫の折は声をかけてください。では今年度もどうぞよろしく。(草薙)

お問い合わせ  
NPO 法人苫東環境コモンズ 事務局  
草薙 [kt-884-556@nifty.com](mailto:kt-884-556@nifty.com)  
携帯 090-6999-2765